報　道　発　表　資　料
平成28年4月16日15時30分
気　　象　　庁

「平成28年（2016年）熊本地震」について（第10報）

地震の概要

4月14日21時26分以降に発生した震度6弱以上を観測した地震
（4月16日15時現在）

発生時刻	震央地名	マグニチュード	最大震度
4月14日 21時26分	熊本県熊本地方	6.5	7
4月14日 22時07分	熊本県熊本地方	5.7	6弱
4月15日 00時03分	熊本県熊本地方	6.4	6強
4月16日 01時25分	熊本県熊本地方	7.3	6強
4月16日 01時46分	熊本県熊本地方	6.0	6弱
4月16日 03時55分	熊本県阿蘇地方	5.8	6強
4月16日 09時48分	熊本県熊本地方	5.4	6弱

○ 防災上の留意事項
　熊本県から大分県にかけて地震活動が活発になっています。揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意し、身の安全を図ってください。

○ 地震活動の状況
　14日21時26分の地震以降、16日15時00分現在、震度1以上を観測する地震が287回発生しています（震度7：1回、震度6強：3回、震度6弱：3回、震度5強：1回、震度5弱：5回、震度4：49回、震度3：76回、震度2：99回、震度1：50回）。

※地震回数は速報値で、後日の調査で変更になることがあります。

本件に関する問い合わせ先：地震火山部地震予知情報課　　03-3211-4583

平成28年4月16日15時現在
気象庁地震火山部

「平成28年（2016年）熊本地震」（平成28年4月14日21時～　）

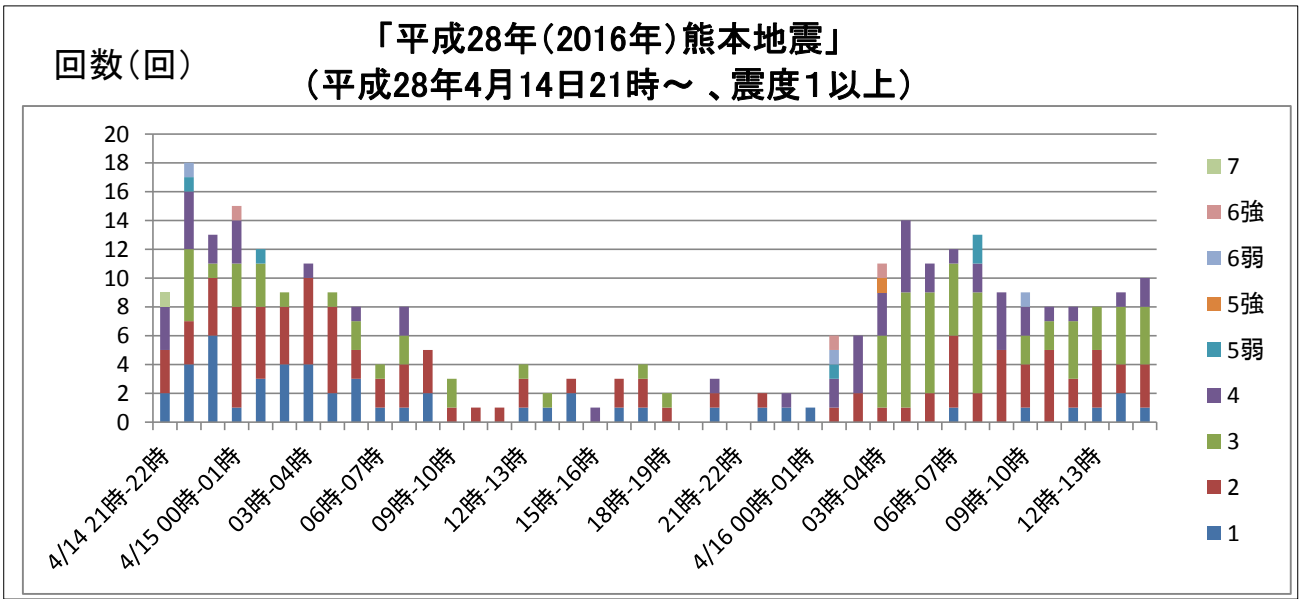
熊本県熊本地方、熊本県阿蘇地方、大分県西部、大分県中部の震度1以上の最大震度別地震回数表

※この資料は速報値であり、後日の調査で変更されることがあります。

時間帯	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
4/14 21時-24時	12	10	6	9	1	0	1	0	1	40	40	
4/15 00時-24時	30	51	19	10	1	0	0	1	0	112	152	

時間帯	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
4/16 00時-01時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	153	
01時-02時	0	1	0	2	1	0	1	1	0	6	159	
02時-03時	0	2	0	4	0	0	0	0	0	6	165	
03時-04時	0	1	5	3	0	1	0	1	0	11	176	
04時-05時	0	1	8	5	0	0	0	0	0	14	190	
05時-06時	0	2	7	2	0	0	0	0	0	11	201	
06時-07時	1	5	5	1	0	0	0	0	0	12	213	
07時-08時	0	2	7	2	2	0	0	0	0	13	226	
08時-09時	0	5	0	4	0	0	0	0	0	9	235	
09時-10時	1	3	2	2	0	0	1	0	0	9	244	
10時-11時	0	5	2	1	0	0	0	0	0	8	252	
11時-12時	1	2	4	1	0	0	0	0	0	8	260	
12時-13時	1	4	3	0	0	0	0	0	0	8	268	
13時-14時	2	2	4	1	0	0	0	0	0	9	277	
14時-15時	1	3	4	2	0	0	0	0	0	10	287	
総計	50	99	76	49	5	1	3	3	1		287	

※16日02時までは熊本県熊本地方で発生した地震の回数であり、02時以降は領域を広げてカウントしている。

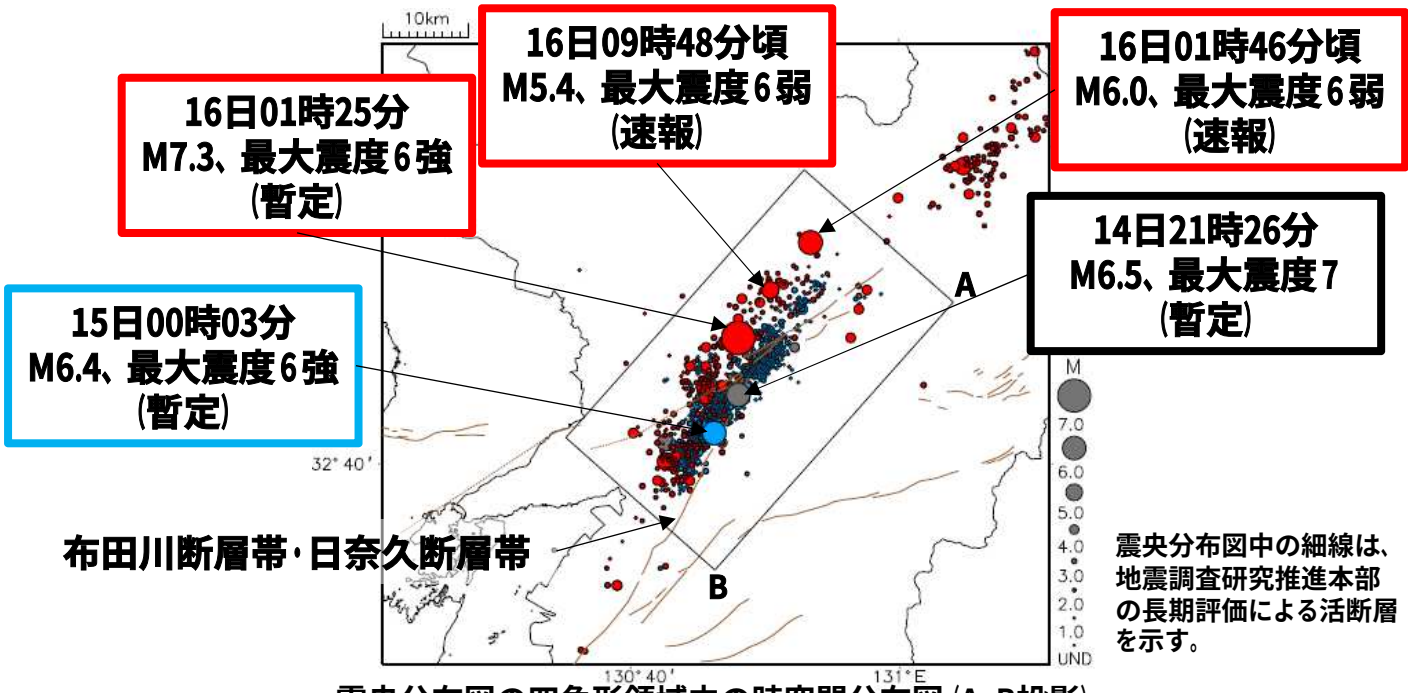


「平成28年（2016年）熊本地震」
地震活動の状況（4月16日13時30分現在）

震央分布図

(2016年4月14日21時00分～16日13時30分、M全て、深さ0～20km)

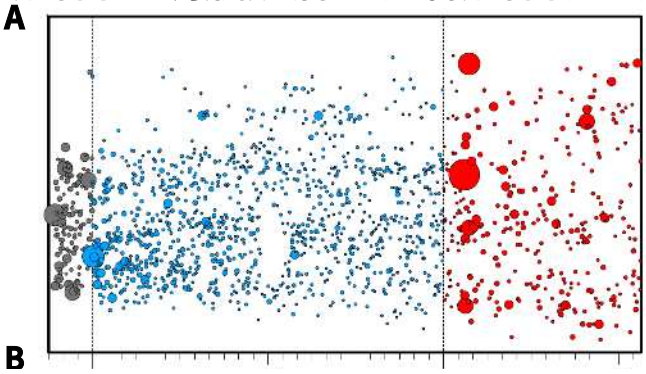
4月14日の地震を灰色、15日の地震を水色、16日の地震を赤色で表示



震央分布図中の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

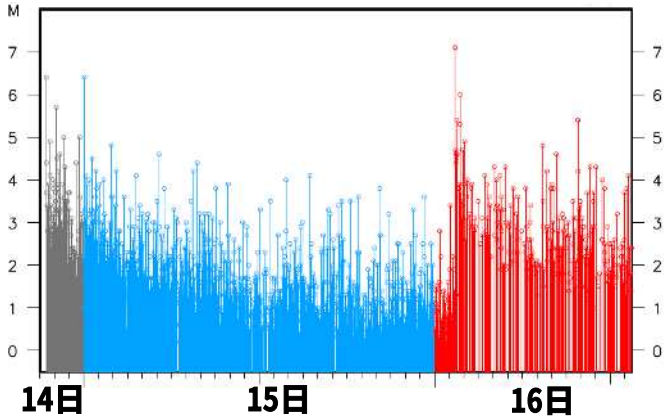
震央分布図の四角形領域内の時空間分布図 (A-B投影)

横軸は時刻、縦軸のA・Bは震央分布図の四角形領域の両端のA・Bと対応する。



震央分布図の四角形領域内の地震活動経過図

横軸は時刻、縦軸はマグニチュード、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。



＜資料の利用上の留意点＞

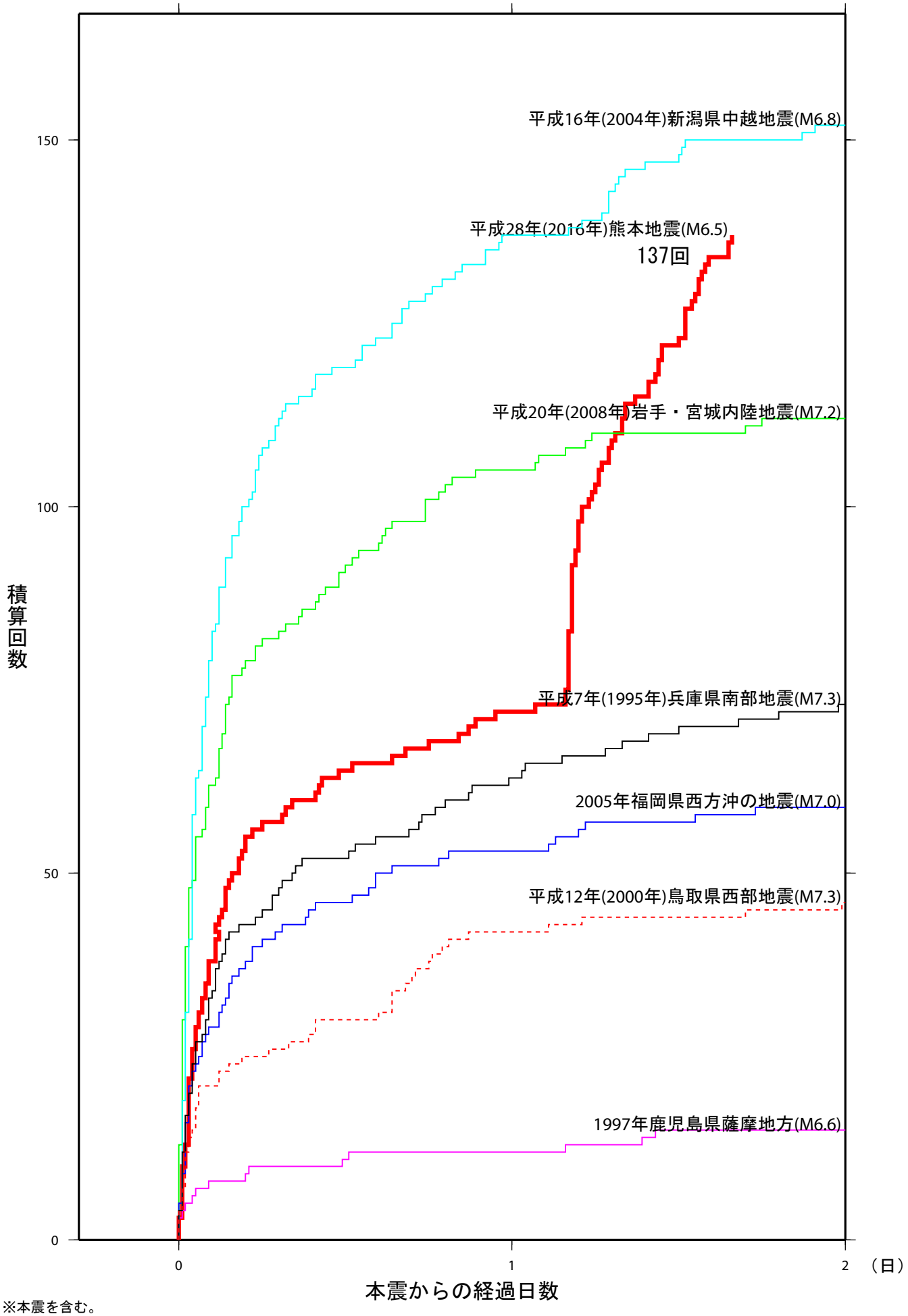
・表示している震源は、自動処理による結果です。

・発破等の地震以外のものや、震源決定時の計算誤差の大きなものが表示されることがあります。

・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

内陸及び沿岸で発生した主な地震の
地震回数比較（※本震を含む）（マグニチュード3.5以上）

2016年04月16日13時30分現在

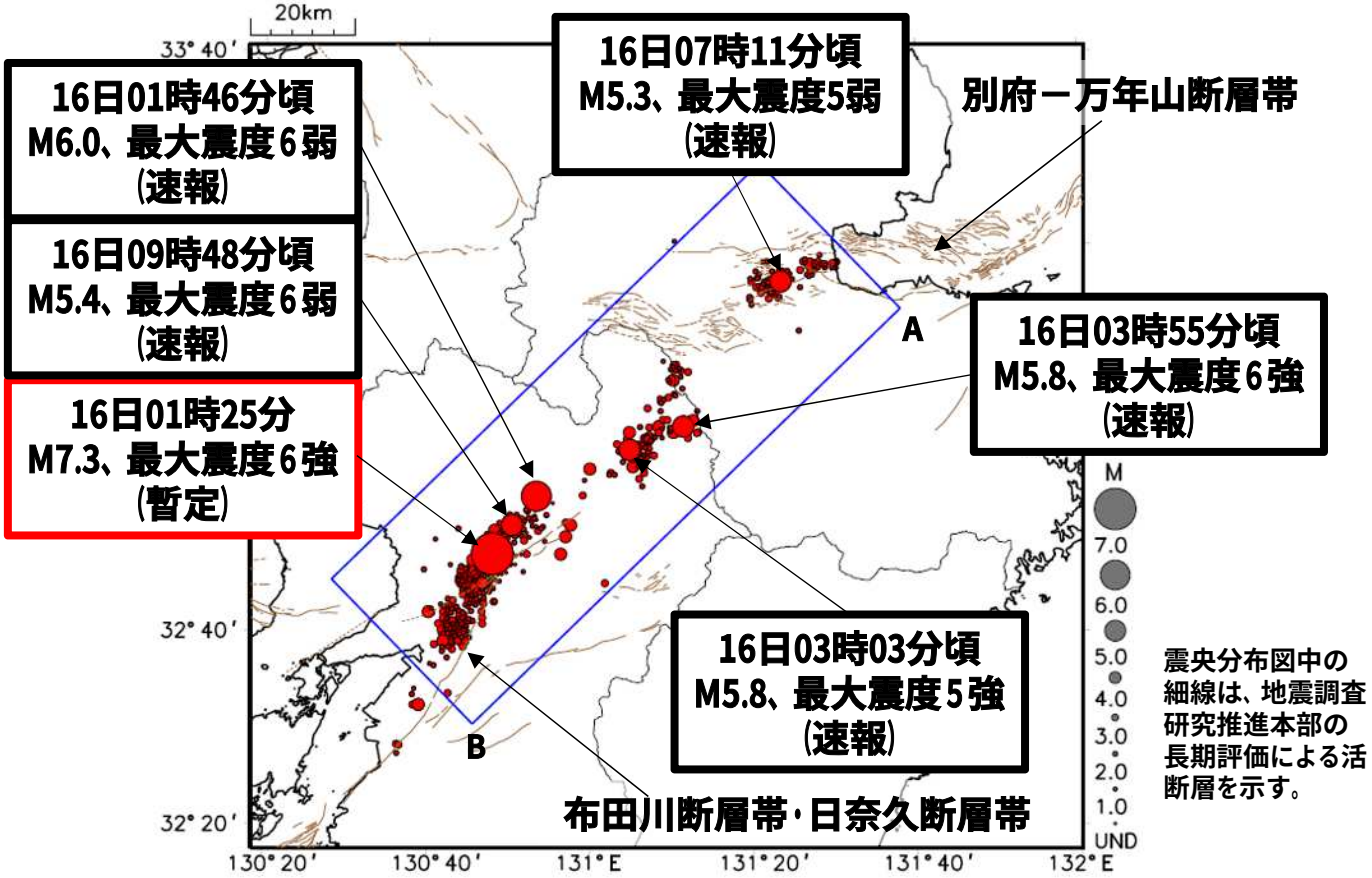


※本震を含む。
※この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがあります。

気象庁作成

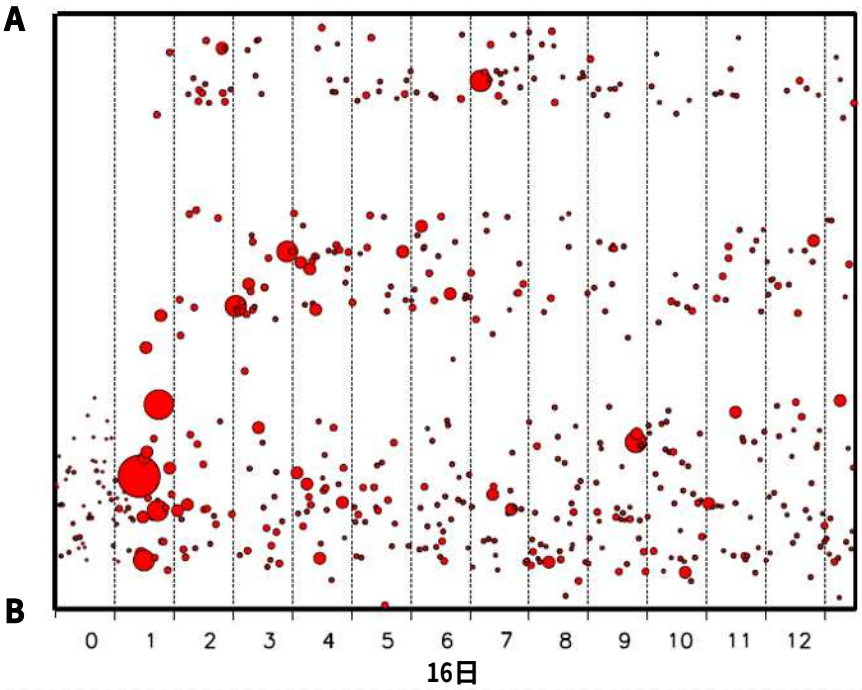
「平成28年（2016年）熊本地震」
熊本県から大分県にかけての地震活動の状況（4月16日13時30分現在）

震央分布図
(2016年4月16日00時00分～16日13時30分、M全て、深さ0～20km)



震央分布図中の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

震央分布図の四角形領域内の時空間分布図 (A-B投影)



横軸は時刻、縦軸のA･Bは震央分布図の四角形領域の両端のA･Bと対応する。

＜資料の利用上の留意点＞
･表示している震源は、自動処理による結果です。
･発破等の地震以外のものや、震源決定時の計算誤差の大きなものが表示されることがあります。
･個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

平成 28 年 4 月 16 日 11 時 29 分に発表した緊急地震速報について

4 月 16 日 11 時 29 分頃に発生した熊本県阿蘇地方の地震（最大震度３）に対して、11 時 29 分 09 秒に緊急地震速報（警報）を、九州全域および中国・四国の各地方の一部に発表しました。

緊急地震速報の震度予測が過大となった原因は、熊本県阿蘇地方に発生した地震とほぼ同時に大分県中部で地震が発生したためです。

これらの地震を同時に処理した結果、緊急地震速報の震源決定処理において震源を日向灘に決定し、日向灘の M6.9 の地震と判断して、緊急地震速報（警報）を発表しました。

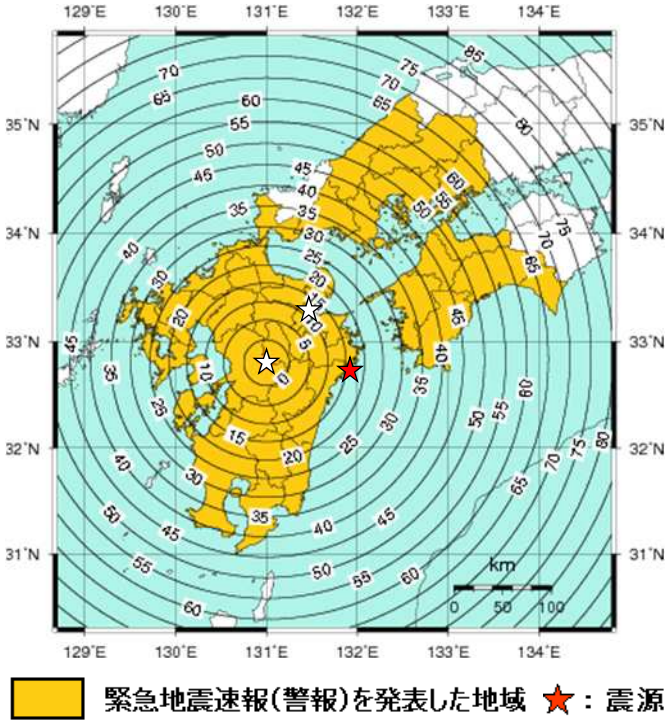


図１．緊急地震速報（警報）を発表した地域及び熊本県阿蘇地方の地震からの主要動到達までの時間。星印は白が実際に発生した地震の震央、赤が緊急地震速報を発表した地震の震央。

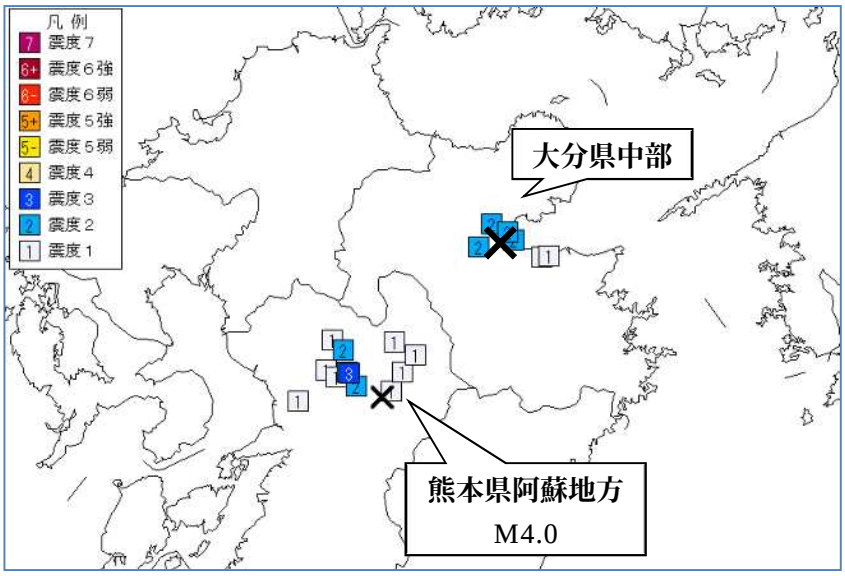


図２．11 時 29 分頃に発生した、熊本県阿蘇地方と大分県中部の地震の震度分布図
×印がそれぞれの地震の震央

なお、このように震度予測が不適切な事例がありますが、緊急地震速報（警報）が発表された場合には実際に地震が発生していますので、強い揺れから身を守る行動をとっていただきますようお願い致します。

気象庁作成